

Your Library

わたしの図書館をつくる
～個人向けポータルサイト“MyLibrary”の紹介～

読書ナビ

第29回 「知」とメディアの変容を考えるための10冊
社会学部教授・井川充雄

1. 『マクドナルド化する社会』
(ジョージ・リッツア著 早稲田大学出版部、1999年)
2. 『数量化革命：ヨーロッパ覇権をもたらした世界の誕生』
(アルフレッド・W. クロスビー著 紀伊國屋書店、2003年)
3. 『知識の社会史：知と情報はいかにして商品化したか』
(ピーター・バーク著 新曜社、2004年)
4. 『グーテンベルクからグーグルへ 文学テキストのデジタル化と編集文献学』
(ピーター・L. シリングスバーク著 慶應義塾大学出版会、2009年)
5. 『「中立」新聞の形成』
(有山輝雄著 世界思想社、2008年)
6. 『日露戦争と新聞』
(片山慶隆著 講談社、2009年)
7. 『戦後世論のメディア社会学』
(佐藤卓己編著 柏書房、2003年)
8. 『輿論と世論』
(佐藤卓己著 新潮社、2008年)
9. 『博覧の世紀』
(福岡良明〔ほか〕編著 梓出版社、2009年)
10. 『図書館に訊け!』
(井上真琴著 筑摩書房、2004年)

※上記の資料はすべて立教大学図書館で所蔵しています。

インターネットの急速な普及は、世界の知のあり方を大きく変えつつある。われわれは、インターネットを使いさえすれば、膨大な情報を瞬時に手に入れられると言っても過言ではない。その一方で、新聞や書籍などの活字メディアは衰退の一途をたどっているように見える。しかし、そうした傾向は本当に喜ばしいことなのだろうか。インターネットには体系性を欠いた断片的な情報、根拠の曖昧な虚偽のコンテンツ、悪意に満ちた一面的な意見等々が満ちあふれている。そして、そうしたものを安易に引用したレポートが大学にも蔓延し、知のあり方を蝕んでいるのが現状ではなかろうか。

ここでは広義のメディア史の文献を紹介し、われわれが現在立っている知の地平を考え直す契機としたい。まず、文献の1～4は、何世紀にもわたる長いタイムスパンで人類社会における知のあり方の変容を論じたもの。1は効率化、2は数量化、そして3は商品化をキーワードにした刺激に富んだ著作で、読み比べてみるのもよいだろう。そして4は21世紀における書物や文学、テキストのあり方を論じた最近刊の著作である。

5～9は日本のメディア史研究から。5は新聞の「中立」性を原点に立ち返って論じたもの、6は日本の新聞にとっても、岐路となった日露戦争と新聞の関わりを論じたもので、どちらも綿密な資料収集に基づいた実証的な研究である。7と8は同じ著者によるもので、理性的な討論の帰結としての「輿論」(よろん)と個人の感情を集成したものとしての「世論」(せろん)との峻別を主張する。そして、9は知の展示場としての博覧会の果たしてきた役割を歴史的に扱ったものである。

最後の10はハウツー的なものであるが、大学図書館職員による図書館の利用法。これを参考にして図書館を使いこなさし、「知」の世界を自分の足で旅してほしい。

おしえてライブラリー

第8回

就職活動中ですが、図書館にも就活本はありますか…?

図書館本館と新座図書館には「キャリア支援図書コーナー」があり、職種研究、業界研究、留学、進学など、キャリアに関連する資料を取り揃えています。ここにある資料と図書館のパソコンを使って、エントリーシートを書くなど幅広くお使いいただけます。自身のキャリア形成に図書館の“資料”と“空間”をお役立てください。



図書館本館3階



新座図書館

INFORMATION

レポート・論文作成のアドバイス致します!!

図書館本館について、新座図書館でも「ラーニングアドバイザー」によるサービスを2009年12月から実施しています。サービスにあたるのは、現役の大学院生です。テーマの選び方、資料の探し方から、レポート・論文の書き方まで、その場でアドバイスしてくれます。

- 場所：新座図書館カウンター左側
- 日時：(月曜日～金曜日) 12:00～17:00
- 内容：レポート・論文に限らず、図書館における情報収集や学習全般についてアドバイスします。

これで卒論も怖くない!?



新座図書館
ラーニングアドバイザー

Your Library 第8号(通号67)

発行日 2010年1月29日 連絡先 TEL 03-3985-2628
編集 井川 充雄(図書館副館長) E-mail your_library@ml.rikkyo.ac.jp
発行人 石川 巧(図書館長)
発行 立教大学図書館
http://www.rikkyo.ac.jp/research/library



メールにて、みなさんのご意見、ご感想をぜひお寄せください。

今回は、図書館の個人向けポータルサイト「MyLibrary」の機能をご紹介します。新着アラートサービスなど、皆さんのニーズに合わせて、「MyLibrary」を上手に活用してください。これからも、図書館を“もっと手軽に、より身近に”ご利用いただけるよう、様々なサービスを展開していきます。

CONTENTS

②-③

図書館をもっと手軽に、もっと身近に
オンラインサービス
“MyLibrary”を活用しよう!

④

読書ナビ
おしえてライブラリー
INFORMATION

図書館をもっと手軽に、もっと身近に

オンラインサービス “MyLibrary”を活用しよう!

MyLibraryとは、インターネットを通じてアクセスすると、借りている資料・予約状況の確認のほか、貸出期間の延長もできる、その名の通りWeb上の“わたしの図書館”のようなサイトです。このMyLibraryに、さらに便利で新しいコンテンツ「新着図書アラートサービス」が追加され12月よりサービスを開始しました。本号では、みなさんにMyLibraryをもっと知っていただくために、その機能を詳しくご紹介します。

MyLibraryにログインするためには、RIKKYO V-CampusのIDとパスワードが必要です。



「返却期限がわからなくなっちゃった!」「返却期限が迫っているけれどもう少し借りていたい!」という時は…



貸出・予約状況照会



現在借りている本の貸出状況と、予約/取寄依頼の状況を確認できます。また「延長」ボタンを押すと、初回に限り貸出期間を延長できます。

ただし次のいずれかに該当する場合は延長できません。

- ①延滞資料がある場合
 - ②他の利用者が予約している場合*
- *他の利用者からの予約の有無は「登録番号」の数字部分をクリックすれば「状態欄」で確認できます。

横断検索



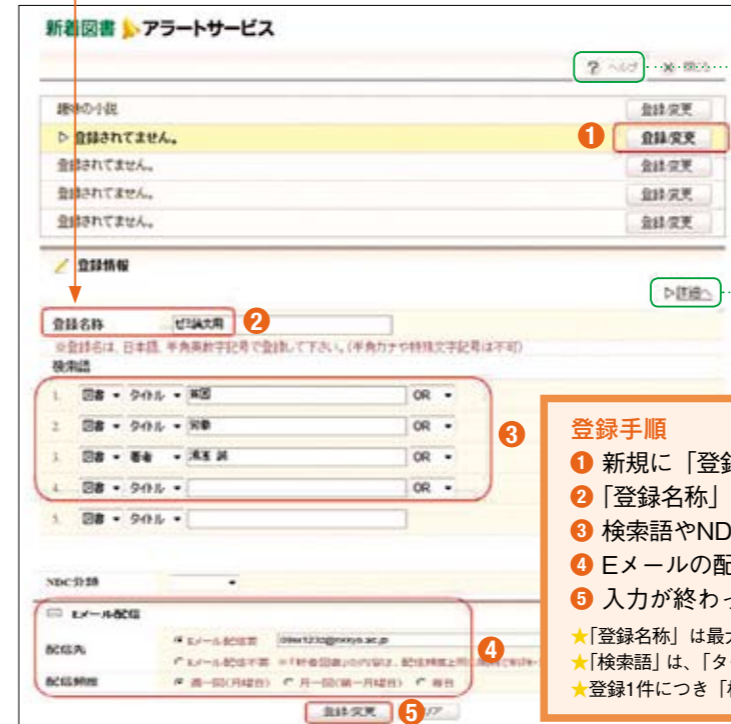
「立教大学以外の、山手線コンソ*の大学にはどんな本があるのか、横断的に調べることができるのね」

*山手線コンソーシアム加盟大学の図書館は、立教大学の学生証を持参して直接訪問し、貸出も受けることができます。ただし試験期には利用できない時期もありますので事前にWebで確認してください (http://www.rikkyo.ac.jp/research/library/service/yamanote/)。

新着図書アラートサービスとは:

事前に登録しておいた自分の関心や研究テーマに合ったキーワードと一致する資料が立教大学図書館に新しく入るたびに、ご案内を指定のメールアドレス宛にお送りするサービスです。

「ゼミ論文で取り上げるテーマに関する新着本を早く知りたい!」という時は…



登録手順

- 1 新規に「登録/変更」をクリックします
 - 2 「登録名称」を入力・編集します
 - 3 検索語やNDC分類を入力します
 - 4 Eメールの配信内容を入力します
 - 5 入力が終わったら最後に画面下部の「登録/変更」をクリックします
- ★「登録名称」は最大5件まで設定可能
★「検索語」は、「タイトル」「著者」「出版社」「ISBN」「件名」の5種類
★登録1件につき「検索語」は5つ設定でき、それらを「AND」「OR」「NOT」でかけ合わせます

ヘルプ (設定方法がわからないときは)

新着図書アラートサービス? ヘルプ

- ・新着図書アラートサービスとは
- ・画面説明
- ・抽出条件の新規登録・編集・削除方法
- ・検索語の設定方法
- ・ご注意とお問い合わせ

「詳細へ」を押すと、初めて登録する場合に限り「検索語」を30まで増やし、検索式を入力することもできます。

「好きな作家や出版社の新刊本が入ったら早く知りたいな」という時は…

著者名や出版社名、特定の本のISBNといった情報を登録しておきます。
※予約の機能ではありません。



登録したキーワードと一致する資料が図書館に入ると、新着案内をEメールでお知らせします。

配信されるEメールの本文例はこちらです。



図書館まで足を運んでみてください!



ご紹介した貸出状況の確認や新着図書アラートサービスを早速今日から使ってみてください。これからも“あなたのための図書館”を目指して様々なサービスを展開していきますので、MyLibraryを使いこなして、立教大学図書館を“わたしの図書館”にしてください。